

## ・環境パフォーマンス指標の目的

- ( 1 ) 環境パフォーマンス指標は、環境保全活動に係る事業者内部における評価・意思決定（環境マネジメントにおける著しい環境側面の特定や環境パフォーマンスの傾向の確認、社員等の業績評価への反映等）に資する情報を提供する。
- また、環境負荷関連指標と経営関連指標を統合化することにより、環境負荷集約度の低減や環境効率の向上、すなわち、経済性の向上と一体となった環境負荷の低減の把握・評価に資する情報を提供する。
- ( 2 ) 消費者、地域住民、金融機関等の外部の利害関係者が、事業者の環境保全活動を評価するための情報を提供する。
- ( 3 ) 事業者の環境パフォーマンス指標というミクロレベルの指標と、国の環境基本計画に基づく総合的環境指標をはじめとする国、地方公共団体等が用いるマクロレベル、メソレベルの指標とを整合的に整備することにより、個々の事業者の事業活動から国、地方公共団体の政策立案までの各主体において適切な意思決定を可能とするための、共通的な情報基盤を形成していくことに資するものである。

なお、本ガイドラインでいう「事業者」とは、主として営利活動を行っている企業（法人単位のみならず、企業グループ単位、個別工場・事業場単位又はプロジェクト単位も含む。）を想定している。ただし、行政、学校、病院、NPO等の組織についても、それぞれの事業形態の特性に応じつつ、本検討成果を活用していくことは可能である。

## ・各種既存のガイドライン等との関係

### ( 1 ) ISO14031との関係

ISO14031 ( JIS Q 14031 ) ( 環境パフォーマンス評価の国際規格 ) は、「組織内部での環境パフォーマンス評価の設計及び使用に関する指針」である。

環境パフォーマンス評価とは、組織の環境パフォーマンス基準と照らし、組織の過去及び現在の環境パフォーマンスを比較した情報を提供する指標（環境パフォーマンス指標）を使用する、内部マネジメントのプロセスであって、それは「計画 - 実施 - チェック - 行動」のマネジメントモデルに従うとしている。

しかしながら、環境パフォーマンス指標の具体的内容については言及しておらず（ただし、附属書Aで例は示している。）組織が環境パフォーマンス評価の指標を選択する際には、政府機関、非政府組織及び科学・研究機関が開発した指標との整合性を考慮することを勧めている。

本指標は、国のマクロレベルの指標（環境基本計画に基づく「総合的環境指標」（平成11年11月 環境庁総合的環境指標検討会報告））や WBCSD、GRIの開発した指標